

# 第1回磐田市民文化会館跡地利活用懇話会 会議録

## 1 日時

令和元年12月22日(日) 9時30分～11時20分

## 2 会場

磐田市文化振興センター 第4会議室

## 3 出席者

懇話会メンバー17名（オブザーバー2名を含む）

- 佐藤 健司(静岡理工科大学 理工学部教授)
- 水野 勲(磐田市自治会連合会 磐田支部長)
- 杉浦 聖(磐田市自治会連合会 福田支部長)
- 藤田 允(磐田市自治会連合会 竜洋支部長)
- 島岡 信生(磐田市自治会連合会 豊田支部長)
- 深田 研典(磐田市自治会連合会 豊岡支部長)
- 山下 貢史(みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 実行委員会)
- 山口 のぞみ(磐田なかよしこども園 PTA 会長)
- 山内 秀記(福田小学校 PTA 会長)
- 鈴木 清晃(豊岡中学校 PTA 会長)
- 大庭 竜介(三十祭実行委員会 元委員長)
- 中井 千江里(いわたゆきまつり実行委員会 前委員長)
- 奥田 莉菜(常葉大学法学部)
- 山内 悠(磐田農業高等学校)
- 山本 楓恋(磐田農業高等学校)
- 西田 英一(静岡理工科大学理工学部) オブザーバー
- 名倉 颯人(静岡理工科大学理工学部) オブザーバー

※2人欠席

岩崎 哲也(豊田南中学校 PTA 会長)、青野 匠真(静岡大学工学部)

事務局7名

- 鈴木 雅樹(秘書政策課長)
- 伊藤 豪紀(秘書政策課 部付主査兼政策行革推進グループ長)
- 松下 公彦(秘書政策課政策行革推進グループ 主任)
- 鈴木 基輝(秘書政策課政策行革推進グループ 主任)
- 松下 隆(秘書政策課政策行革推進グループ 副主任)
- 谷野 敦哉(秘書政策課資産経営準備室 主任)
- 寺田 展浩(秘書政策課資産経営準備室 副主任)

傍聴者 11 名

## 4 内容

### (1) 開会

### (2) 懇話会の目的とこれまでの取り組み

資料1 (事務局説明)

### (3) 意見交換

資料2 磐田がしてきたこと、していること、これからのこと (事務局説明)

グループワーク(テーマ:まちの「にぎわい」の創出と活性化について)

#### Aグループ

##### ■にぎわい創出の意見・提案

- ・年齢問わずに全員が活用できる場づくり
- ・参加型のイベントの開催。(野外フェス、パブリックビューイング(ジュピロのウェイ戦など)、磐田でキャンプフェスなど)
- ・数万人規模のイベントを年数回、数千人規模のイベントを月開催、数十人から数百人規模のイベントを毎月開催する。
- ・近代的でシンボリックな建物の建設。
- ・ららぽーと磐田のように買い物など商業が組み込まれることが大事な視点。
- ・観光の充実。
- ・ジュピロ(サッカー・ラグビー)を活かしたまちづくり。
- ・中心市街地にお店が少ない。商売ができる町にすれば自然と人が集まる。  
そのための環境と場所の提供が重要。
- ・磐田市の文化財や名所、著名な方など、元々ある魅力を活かさきれていな

い。その魅力を活かしたまちづくりを進める。(街道や国分寺の整備、表示や案内板の充実、博物館や美術館の建設など)

・日常的な集客が必要。(釣り堀、子育て支援の施設、自由に使えるオープンスペース的なもの、フットサルができる体育館、地場に特化した小売店など)

・日常使いが基礎となつての大きなイベントの開催。

・地場製品の販売や道の駅など、中心市街地に人が集まるような仕組みが必要。

・中心市街地に定住・交流できるような場が必要。

#### ■磐田市の現状・課題

・駅前に人がいない。

・今の市民文化会館が暗くて堅苦しいイメージ。近寄りがたい。

・ららぽーと磐田(郊外)が賑わっていて、中心市街地に魅力がない。

### Bグループ

#### ■遊び

・映画館 ・プール ・スポーツ ・科学館 ・博物館 ・美術館 ・展示室

・地元文化の保存館 ・天体研究室 ・水族館 ・動物園 ・花鳥園

・親子で楽しめる公園など ・子育て世代が集う場所

#### ■商業施設

・カフェ ・買い物ができる場 ・直売所 ・早朝から開店している店舗

#### ■ホール

・ライブ会場 ・グランシップのような大型施設 ・合同説明会ができる施設

#### ■健康

・スポーツ ・健康づくりの場 ・老人福祉施設

#### ■学習

・学生が自習できる施設(天平のまちのような施設)

・静かでゆっくりできる場所

#### ■災害

・避難場所

#### ■課題

・(現在の市民文化会館は)施設全体が暗いので明るい雰囲気にするべき

・近隣住民だけでなく市民全体が利用できる施設にするべき

## ○グループ

### ■期待・提案(あったらいいな)

- ・IT 企業や有名事務所などの誘致
- ・職業体験・見学ができる場、学生と企業のマッチングができる場
- ・市民が趣味などで自由に利用できるスペース
- ・複数の飲食店などが出店できるブース、○○横丁(居酒屋、ラーメン、古本屋等)の整備
- ・子どもや若者が集まる施設、学習の場、学生が他校の生徒と交流ができる場
- ・高齢者にも利用しやすい施設
- ・幅広い世代が交流できる場
- ・児童館や子ども(小学生)の一時預かりをしてくれるところ
- ・自転車など趣味を活かした交流の場の整備
- ・災害時に防災の拠点、避難所として利用できる施設

### ■まちの課題

- ・他市との共同イベントができる場(他市町の人呼び込み)の創出
- ・御厨駅と磐田駅との連携、回遊性の確保
- ・駅から施設へのアクセスの途中で飲食店が少ない

## 講評(佐藤教授)

- 建築学科で教えているが、まちづくりも建築の領域に含まれている。
- まちづくりにおける住民の生の声を聴かせていただき、大変貴重な機会となった。
- 都市計画では、概ね 20 年後のまちの姿を考えて計画するように求めている。20 年後にどういった生活スタイルになっているかを想像しながら、施設を検討しなくてはならない。
- 人口減少が進んでいることから、20 年後にはまち自体を縮めることも考える必要があるかもしれない。この市民文化会館跡地は市の中心部にある。中心市街地に活気ができることで、いろいろなところに良い波及が及ぶ可能性を持っている。
- 次回の意見交換も楽しみにしている。

以上